

2015年4月2日

公益社団法人 東京都盲人福祉協会 青年部様より、「+1 LANE PROJECT」の都知事宛て提言書に対し、下記のとおり賛同のメッセージをいただきました。

記

「私たち視覚障害者にとって、自由に外出できるということは、大きな喜びです。そして安全に歩行できるということは、生活する上での最低条件です。

しかし、歩道を歩く私たちの安全が脅かされることがあります。そうしたことに自転車が関わっていることが少なくありません。歩道を走行する自転車との接触や、その危険に遭遇することは、視覚障害者の多くが日常体験していることです。本来歩行者優先であるはずの歩道で、自転車にベルを鳴らされ路傍によけるということもあります。

また、私たちの歩行に欠かすことのできない白杖が、自転車の車輪に巻き込まれて破損することも少なくありません。この場合、自転車側にもスポークが折れるなどの被害が生じることとなります。

私たちが望んでいるのは、お互いが楽しく安全に歩行し、またサイクリングをエンジョイすることのできる社会です。お互いに加害者にも被害者にもならずすむことを、私たちは望んでいます。

そのために、自転車レーンを設置することは、非常に有益であると考えます。エコフレンドリーであり、スポーツ・レクリエーションとしての自転車の有用性と、歩道を歩く私たちの安全を両立するために、ゾーンを整理することが求められると思います。

さらにハード面の整備だけでなく、歩道での違法な駐輪を行わず、走行中は交通ルールを順守する等、各自転車運転者のマナー・意識の向上も求められます。

2020年のパラリンピック開催に向け、東京がより安全な都市となることを期待するとともに、視覚障害当事者団体としての私たちも当事者の声を伝えつつ、多くの方々と協力・協調できるあり方の模索を続けて参ります。」

以上

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会

<+1 LANE PROJECTとは>

自転車活用推進研究会が開設している、東京都心全域と2020年東京オリンピックパラリンピック施設をつなぐ自転車レーン網整備を提唱するオンラインキャンペーンです。

賛同を示す「いいね」ボタンが2015年3月時点で30,000回以上クリックされています。

近日中（日程調整中）に都庁に対して都知事宛て提言書を提出予定です。

<http://plusonelane.tokyo>